

## もめているプレイヤーの仲裁方法

堀川優一

### ① 仲裁方法を身につける必要性

備えがあれば憂い無し。多くのマジックプレイヤーは大人で紳士的なので、もめることは非常に少ないように思います。しかしながら、大会でもめごとが起きた場合、初動の対策をおこなうのはジャッジであり、この方法を身につけておいて損は無いです。

### ② まずは、落ち着くこと

プレイヤー同士がもめている場合、そのもめごとは既に、現場に到着する前に確認できることが多いです。もめているプレイヤーは感情的になっており、ジャッジコールを連発するかもしれませんが、そこへ焦って行くことは良い結果を招きません。

仲裁するあなたが落ち着いて現場に到着することが大切です。

一呼吸おいてから、現場に到着しましょう。

また、他のジャッジにあらかじめ応援を要請しておくとうまいでしょう。

### ③ 空白の15秒を上手く使え

通常であれば、現場に到着して、あなたは自己紹介をしたりするでしょうが、もめているプレイヤー同士の場合はその限りではありません。

まず、本題に入りましょう。

『何が原因でもめているのか？』

『現在どういった状況なのか？』

この2点を聞き出すことに注力してください。

職務質問における声かけの際は「空白の15秒」（人は予想外のことに遭遇すると、15秒間ほど、ありのままにそれを受け入れる状態になること）を有効に使うというテクニックがあります。

あなたがジャッジのシャツを着て、黒ずくめの姿で質問した場合は、最初の15秒はもめているプレイヤーでも素直に聞いてくれることが非常に多いです。

その間に出来る限りの情報を引き出しましょう。

### ④ 2人のプレイヤーの意見が食い違いヒートアップする。

多くの場合、上の形だけで、小さなもめごとはおわります。

ですが、場合によってはよりヒートアップすることがあります。  
それは、2プレイヤー間の意見が食い違っている場合です。

対処法は2個あります。

#### ⑤ 方法1 テーブルで片方ずつ、プレイヤーの意見を聞く

比較的ヒートアップしているのが少ない場合にこの方法は有効です。重要な点は

**Aのプレイヤーがしゃべっているときに口をはさむBのプレイヤーを黙らせること**

です。確実に黙らせてください。『あなたの話は後で必ず聞きます』この一言で問題ありません。

また、あなたがおかしいなと思っても、Aのプレイヤーの話を最後まで聞いてください。(不明な部分の質問はしてください、ですが結論は出しません)

その後Bのプレイヤーの意見を聞きます。Aのプレイヤーのときと同様にAのプレイヤーを黙らせ、あなたも聞くことを徹底してください。

これで、大抵の場合、プレイヤーは落ち着きますし、もめごとを収める糸口が見つかります(大抵どちらかが规则的に間違っているため)

両者の意見を考慮し、結論を出します。

#### ⑥ 方法2 テーブルから話して1人ずつ意見を聞く

こちらは、よりプレイヤーがヒートアップしている状態の対処法です。雰囲気的に殴りかかりそうなぐらいの場合はこっちになります。

かなり稀な例ですが、時折そういったことが発生します。

双方の意見をバラバラに聞くことで、それぞれに落ち着く時間を与える意味もあります。

怒りの最高時の時間は6秒といわれています。これは、怒りの感情に対して制御する前頭葉の理性が働くまでに3~5秒かかるためだそうです。

また、怒りをつかさどるノルアドレナリンは20~40秒ほどで、半減します。2人のプレイヤーを離すことで、お互いに落ち着く機会を与えることは脳科学的にも重要で

あるといえます。

そして、両者の意見を聞き中立の立場から、**はっきりとした結論**を出します。

必ず、言い切ることが重要になります。

## ⑦ 最後に

以上となります。この方法が一つの解決策になればと思います。

警察官として仕事をしていたときに多くの人を職務質問し、ときには逮捕してきました。ですが、私が習ったこと、実践で学んだことは上のことだけです。

大抵の場合、この方法を知っているだけで、よりスムーズにことが運営できます。

あなたの自信に繋がれば幸いです。